

## 平成 28 年第 2 回定例会 環境農政常任委員会

平成 28 年 6 月 17 日

鈴木委員

県の循環型社会づくり計画の改訂骨子案というのを見ていたんですが、一つ一つのことを見てみると、特に 8 ページ、ポリ塩化ビニール廃棄物と書いてあり、課題の中に県 PCB 廃棄物処理計画に基づく処理期間内での処理完了と書いてあって、何なのかなと思う。課題と実際の、これまでの取組等の整合性が分からないので、教えてください。

資源循環推進課長

8 ページの PCB 有機物処理計画についてですけれども、これは課題というか、期限内には処理を完了しなければならないということで、その期限が迫っているということで、課題として挙げさせていただきました。

鈴木委員

計画というのは、例えば 16 ページの施策事業体制というのがあって、そこから要するに何をしたいのかというブレークダウンしなきゃならない。本来ならば、この施策の中の大柱、最初にこれがあって、それを分けていって、必要ならば計画数値というのが出てくるんなら分かるけれども、いかがですか。

資源循環推進課長

改訂骨子案というのは、確かに実際に何をやるかというところが、ちょっと分かりづらいところもあるかと思います。これについては、事業体制等、実際に何をすべきかというところをなるべく県民の皆様に分かりやすくなるように工夫を、素案作成に向けて検討していきたいというふうに考えております。

鈴木委員

22 ページのところ、災害廃棄物処理計画及び災害廃棄物処理業務マニュアルとして別に定めますというから、私はあるのかと思ったら、実はつくられてないんだよね。こういうのも含めて、もう一度、しっかり県民の方に分かるような形で、何がしたいんだというようなものがなければ、こういう形で出てきても、紙の無駄なんじゃないかと心配するぐらい雑な気がするんです。大変失礼な言い方だけど、きちっとしたものを出していただかないと。これだと端から質問したら、1 時間以上でも質問できますよ、時間もないので、要望にして、見直ししていただけるということですので、次回また楽しみにしています。以上です。

意見発表

鈴木委員

公明党を代表して、意見を述べさせていただきたいと思います。

もう質疑の中でお話ししましたので、まとめとして、一つ一つちょっと確認をしておきたい。

一つは、IGES については、八千数百万円もの補助金が出ています。この内容についても一度精査をして、何らかの形で、やはりこれだけ県の財政も

厳しい、また至るところでいろんな費用がかかる状況下であるならば、やはり相手方との接触、並びにまた検討というようなものをしっかりまた進めていただきたいというのが1点。

2点目は、質疑でも申し上げましたが、鳥獣被害の対策について、約2億円ものお金、これも過去から今まで合わせて見たらば、相当のお金がつぎ込まれている。ところが実際には、まだかえってこの鳥獣被害については、ひどい状況になっている状況下の中において、どのようにこれから進めていくのかという青写真をしっかりつくるべきであると、それなしに、何か分からないけれども一つ一つの目標というようなものが明確にならないまま、このままいくことを、大変私は心配します。

先ほど、かながわランドデザインというのを久しぶりに取り寄せてみました。これを見てみたら、私も久しぶりなんです、ニホンジカとかアライグマなどの野生鳥獣による被害対策を推進するとともに、鳥獣被害対策に関する人材育成を実施するとしか書いてない。この120人から、やれ82人だって、これでもって、そもそもは鳥獣被害対策なんてできるはずないわけで、私はこういうところで何か目標ごとにクリアしました、クリアしませんなんていうのは、申し訳ないですけど、県民は望んでないと私は思いますよ。現実でどれだけ減ったのか、そしてその効果がどうなのかというようなことを、是非とも見える化をしっかりとさせていただきたい。併せて私は提案申し上げましたけれども、民間ではもう警備会社が基本的にこの鳥獣被害まで乗り出している。このままいくと、本当に公がどこまでやれるのかということが、いよいよ問われますよ。こういう状況下の中で、私はひとつアメリカ等々でドローンを使ってのサーモセンサー、カメラを使ってでも、どこどこいきなり平面でシカがどこにいますかみたいなことを、やれハンターの方が探すんじゃなくて、上空からサーモカメラを使えば、昼間だって林に隠れた要するに体温があるシカだったらば、全部見れるわけで、これは夜間でも見れます。そういうさがみ産業ロボット特区って、全国に向けて発信しているのであるならば、それを一刻も早く取り入れて、何らかの形でもって、全国に先駆けた活動をしっかりお願いしたいというのが2点目。

3点目が、この神奈川県地球温暖化対策計画、この中でも適応策という中に、何かを取って付けたみたいに国から出てきた計画書を入れて、水産業と農業しか書いてないとかじゃないだろうと。事務所なり、また家庭なりというようなものの取組があつてしかるべきであつて、でも提案しましたけど、窓枠なんかをアルミサッシからどンドン樹脂に替えていくことによって、本当に電導率が変わって、それで寒さやまた結露なんかもなくなるというデータも出ているわけで、併せてまた断熱材を使うことによって、高齢化社会に向けて、血圧等々において明らかに違ってきているというデータも出ているわけで、そういうものをしっかり使った形でやっていただきたい、これが3点目。

4点目は、さっき申し上げましたこの神奈川の循環社会づくり計画改訂骨子案、ちょっと私はつくり方を大幅にもうちょっと変えていただいて、次のときにまたもう一度、質疑をさせていただきたいと思います。

以上、四つほど意見を申し上げまして、今回の諸議案について賛成いたしま

す。